MARUHA NICHIRO
海といのちの未来をつくる

畜産マーケット情報
2020年7月

１．消費動向編　…１～２ﾍﾟｰｼﾞ
２．牛肉編　…３～４ﾍﾟｰｼﾞ
３．豚肉編　…５～６ﾍﾟｰｼﾞ
４．鶏肉編　…７～８ﾍﾟｰｼﾞ
５．加工品編　…９～10ﾍﾟｰｼﾞ

マルハニチロ株式会社

2020年7月１５日(水)

畜産マーケット情報　　2020年7月　　消費動向編

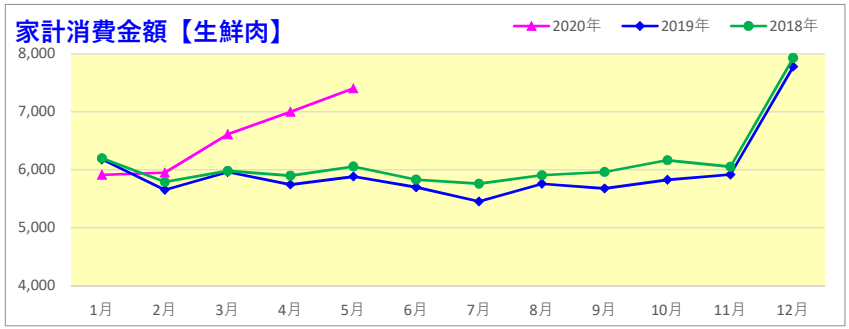
消費動向（全国1世帯当たり）

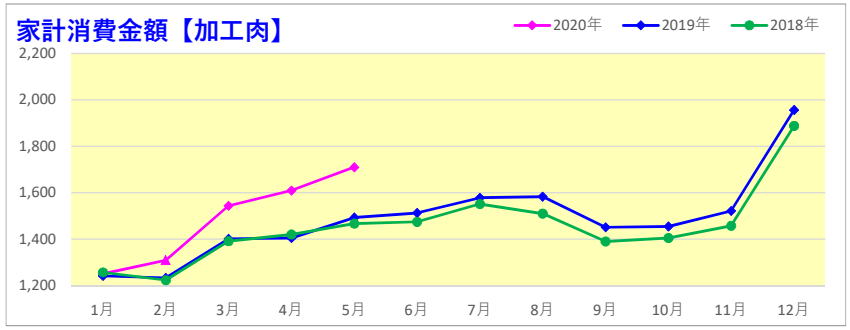
・20年5月の家計消費支出は1世帯当り252,017円(前年同月比名目▲16.2%)。うち食料支出は73,919円(同▲3.4%)。名目消費支出は家具・家事用品以外はすべて減少し、特に被服及び履物、教養娯楽が大きく減少。肉類では、全体で9,115円（同+23.6%）と大幅増となった。畜種別では、金額で前年同月比で牛肉+27.6%、豚肉+22.9%、鶏肉+21.8%、合挽肉+38.7%となり、数量で牛肉+7.0%、豚肉+10.9%、鶏肉+18.9%、合挽肉+19.9%と全畜種で金額、数量ともに大幅プラスとなった。加工肉については、ハムは、前年同月比金額で+6.4%（数量+2.2%）、ソーセージは+12.8%（同+8.7%）、ベーコンは+23.8%（同+7.2%）と、全加工肉で前年比増となった。特にベーコンの伸びが顕著だった。

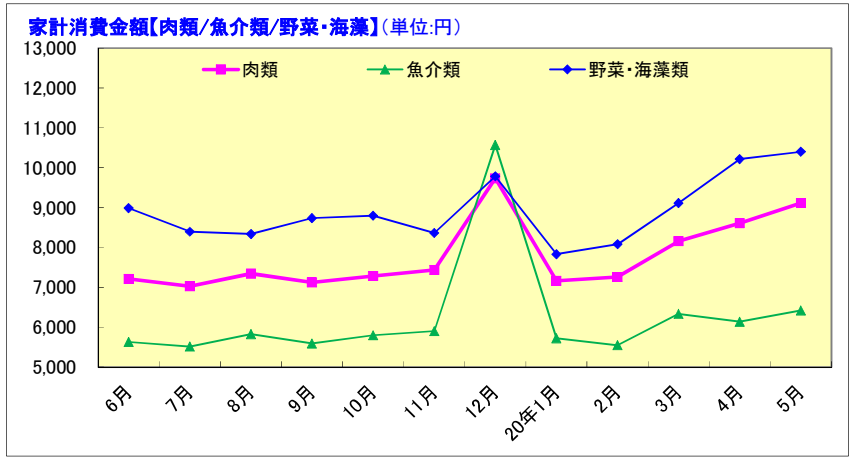
・20年4月の外食支出については、6,547円と前年同月比▲58.9%と緊急事態宣言による甚大な影響が続く。こうした中、ハンバーガーのみが+41.4%と好調で、先月よりさらに高い伸び率となった一方、飲酒代は昨年比▲88.0%と最も影響が大きかった。

出典（総務省「家計調査」）

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
牛肉	金額	2020年	1,704	1,664	1,848	1,976	2,268							
		2019年	1,810	1,515	1,671	1,682	1,777	1,625	1,518	1,853	1,560	1,522	1,649	2,996
		2018年	1,756	1,584	1,726	1,719	1,749	1,692	1,676	1,874	1,665	1,735	1,698	2,997
	重量	2020年	505	522	600	655	729							
		2019年	548	492	571	521	560	525	522	558	484	478	561	738
		2018年	526	485	548	570	541	525	544	589	536	552	556	748
	単価	2020年	3,373	3,188	3,080	3,017	3,111							
		2019年	3,300	3,080	2,927	3,232	3,171	3,093	2,908	3,320	3,220	3,187	2,938	4,062
		2018年	3,303	3,226	3,268	3,017	3,235	3,220	3,082	3,180	3,104	3,142	3,051	4,006
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
豚肉	金額	2020年	2,469	2,545	2,820	2,907	2,942							
		2019年	2,592	2,425	2,538	2,394	2,393	2,408	2,358	2,335	2,438	2,555	2,516	2,685
		2018年	2,626	2,488	2,521	2,492	2,565	2,495	2,483	2,428	2,546	2,605	2,584	2,758
	重量	2020年	1,737	1,810	2,044	2,058	2,024							
		2019年	1,871	1,715	1,876	1,720	1,704	1,768	1,720	1,630	1,698	1,808	1,784	1,884
		2018年	1,787	1,691	1,816	1,771	1,817	1,792	1,747	1,687	1,773	1,840	1,850	1,943
	単価	2020年	1,421	1,406	1,380	1,413	1,454							
		2019年	1,386	1,414	1,353	1,392	1,405	1,362	1,371	1,433	1,436	1,413	1,410	1,425
		2018年	1,385	1,414	1,353	1,392	1,404	1,362	1,371	1,433	1,436	1,413	1,410	1,425
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
鶏肉	金額	2020年	1,309	1,310	1,451	1,574	1,578							
		2019年	1,348	1,298	1,332	1,271	1,296	1,268	1,185	1,121	1,242	1,312	1,309	1,605
		2018年	1,389	1,306	1,320	1,281	1,316	1,231	1,194	1,163	1,302	1,371	1,339	1,665
	重量	2020年	1,358	1,402	1,617	1,805	1,716							
		2019年	1,429	1,397	1,428	1,365	1,418	1,437	1,298	1,244	1,343	1,483	1,452	1,625
		2018年	1,382	1,342	1,345	1,378	1,397	1,366	1,294	1,285	1,368	1,480	1,461	1,765
	単価	2020年	964	934	897	872	920							
		2019年	943	929	933	931	914	883	913	901	925	885	901	988
		2018年	943	929	933	931	914	882	913	901	925	885	902	988
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生鮮肉	金額	2020年	5,913	5,952	6,612	7,002	7,405							
		2019年	6,181	5,655	5,963	5,745	5,882	5,700	5,452	5,760	5,675	5,828	5,915	7,780
		2018年	6,198	5,790	5,979	5,898	6,055	5,830	5,759	5,904	5,961	6,163	6,050	7,931
	ハム・ソー		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
加工肉	金額	2020年	1,250	1,309	1,544	1,609	1,710							
		2019年	1,241	1,233	1,401	1,405	1,493	1,513	1,578	1,583	1,451	1,454	1,521	1,957
		2018年	1,256	1,223	1,391	1,420	1,467	1,474	1,551	1,510	1,390	1,405	1,457	1,888







消費動向（全国二人以上1世帯当たり／単位：円）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月	4月	5月
肉類	7,212	7,029	7,343	7,126	7,282	7,436	9,737	7,162	7,261	8,155	8,610	9,115
魚介類	5,631	5,512	5,823	5,593	5,797	5,902	10,573	5,723	5,548	6,336	6,136	6,423
野菜・海藻類	8,985	8,395	8,336	8,738	8,798	8,366	9,782	7,832	8,081	9,111	10,215	10,400

小売情報

・日本スーパーマーケット協会によると、5月については、気温はほぼ全国的にかなり高かった。5月は前年と比べ土・日・祝日が1日多かった。生鮮物の相場状況について、野菜は旬ごとの変動が大きかった。水産物は、コロナ禍により外食を中心に需要が落ち込んだことから卸売平均価格は前年を下回った。畜産物は、和牛の卸売価格が大きく下落した一方で、豚肉の卸売価格は一般需要の高まりと海外チルド工場停止による供給減により上昇した。肉・豚肉・鶏肉は家庭内の焼肉需要で好調、ひき肉は餃子の皮などとともに好調。

・日本フランチャイズチェーン協会によると5月は前月に引き続き、緊急事態宣言による在宅勤務や外出自粛等が来店客数に影響を及ぼし、全店・既存店ともに売上高が前年を下回る結果となった。一方、自宅で食事をする機会が増えたことにより、生鮮食品、乳製品、調味料等の売上が好調だったことに加え、冷凍食品や酒類等のまとめ買い需要もあり、全店・既存店ともに客単価は前年を上回った。

・日本百貨店協会によると5月は、全国の会員店が営業自粛を余儀なくされたが、月の後半から順次各店の営業再開が進んだ。これにより、売上高減少率が過去最大を記録した前月(72.8%減)から若干(7.2%)持ち直す結果となった。インバウンドは、売上高97.5減。商品別では食料品(45.2%減)、家庭用品(54.9%減)が健闘した。その他、ネット通販等非店頭売上は好調で、業績を下支えしている。

各協会がまとめた売上金額(単位:百万円)

○日本チェーンストア協会

＜集計56社・10798店舗加盟／ｲｵﾝ、ｲﾄｰﾖｰｶﾄﾞｰ、いなげやなど＞

	年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
畜産	2020年	81,305	77,064	85,623	93,729	95,908							
	2019年	87,152	75,917	81,792	79,884	79,500	76,003	75,382	76,711	75,207	79,441	79,833	93,488
	2018年	88,701	77,704	79,176	80,108	83,372	80,526	81,391	81,667	83,091	84,352	84,754	100,936

分類	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月	4月	5月
農産品	92,224	89,947	99,023	97,366	95,682	89,507	105,832	92,324	88,455	100,276	110,606	115,645
畜産品	76,003	75,382	76,711	75,207	79,441	79,833	93,488	81,305	77,064	85,623	93,729	95,908
水産品	56,882	58,973	57,035	55,532	55,554	55,860	74,556	61,764	55,695	61,490	65,718	69,768

○日本スーパーマーケット協会

＜集計55社・4,812店舗／全店ベース＞

	年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
畜産	2020年	64,282	62,347	68,866	73,376	74,189							
	2019年	63,243	57,141	60,842	59,972	62,242	61,368	60,467	61,945	60,817	64,340	64,400	74,721
	2018年	62,750	56,481	58,018	59,731	61,708	60,014	60,221	60,300	61,163	62,623	62,129	73,345

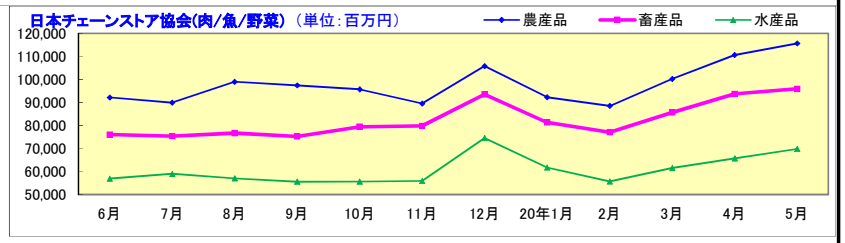
分類	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月	4月	5月
農産品	72,401	70,441	78,300	76,348	75,289	70,161	83,026	71,732	69,989	78,924	84,082	87,156
畜産品	61,368	60,467	61,945	60,817	64,340	64,400	74,721	64,282	62,347	68,866	73,376	74,189
水産品	44,183	46,817	46,714	43,847	44,603	44,420	61,388	48,139	43,941	48,987	48,744	51,084

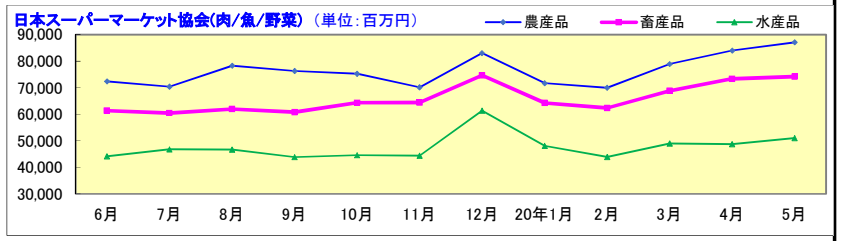
○オール日本スーパーマーケット協会

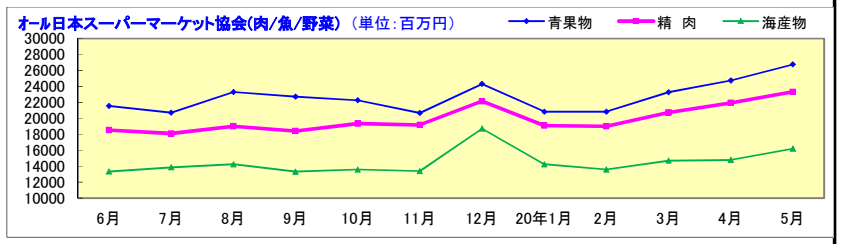
＜集計55社・1430店舗／既存店＞

	年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
畜産	2020年	19,093	19,014	20,744	21,937	23,325							
	2019年	19,086	17,622	18,646	18,577	18,942	18,538	18,105	19,014	18,419	19,354	19,188	22,168
	2018年	18,427	17,055	17,404	17,899	18,335	18,304	18,396	18,934	18,826	19,172	18,734	22,076

分類	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月	4月	5月
青果物	21,560	20,702	23,293	22,728	22,263	20,675	24,303	20,850	20,838	23,279	24,748	26,755
精　肉	18,538	18,105	19,014	18,419	19,354	19,188	22,168	19,093	19,014	20,744	21,937	23,325
海産物	13,349	13,874	14,244	13,324	13,587	13,403	18,711	14,234	13,585	14,718	14,789	16,221







外食情報

5月も新型コロナの影響により深刻な事態が続いた。緊急事態宣言の解除後も繁華街、夜の時間帯、休日等で客足の戻りは鈍く、5月の外食全体売上は前年比67.8%と、4月よりは回復したが大幅に減少。ﾃｲｸｱｳﾄに強みのあるﾌｧｰｽﾄﾌｰﾄﾞでは好調なところのある一方、休業せざるを得ず、持ち帰り対応に不向きな飲酒業態などは壊滅的な打撃を受けた。

①ファーストフード:多くは時間短縮で営業を続け、持ち帰り需要や、店内飲食の回復もあり、全体売上は90.7%となった。洋風はﾃﾞﾘﾊﾞﾘｰを含む持ち帰り需要が伸び、売上110.9%と前年を上回った。麺類、その他は、それぞれ売上50.6%、78.8%。和風と持ち帰り米飯・回転寿司は、持ち帰り需要と、回転寿司の店内飲食の回復で、それぞれ84.8%、90.0%。

②ファミリーレストラン:多くは時間を短縮して営業を続け、店内飲食の回復、ﾃｲｸｱｳﾄ・ﾃﾞﾘﾊﾞﾘｰの強化が売上回復に寄与したが、外出自粛、営業時間短縮により全体売上50.6%と前年を下回った。ﾃｲｸｱｳﾄ・ﾃﾞﾘﾊﾞﾘｰを強化している中華や洋風は、それぞれ74.2%、48.1%。和風はシニア層の顧客の戻りが鈍く40.5%。焼肉は休業店舗の再開で50.9%に回復。

③パブ・居酒屋:4月に続き多くの店舗が休業し、店を再開しても、ほとんど集客できない店もあり、パブ・ビアホールは売上4.1%、居酒屋11.5%と引き続き壊滅的な状況。

④デイナーレストラン:新しく取り組んだ高価格帯の弁当が好評で売上を下支えしたところもあったが、4月に続き休業する店舗が多く、売上は28.5%となった。

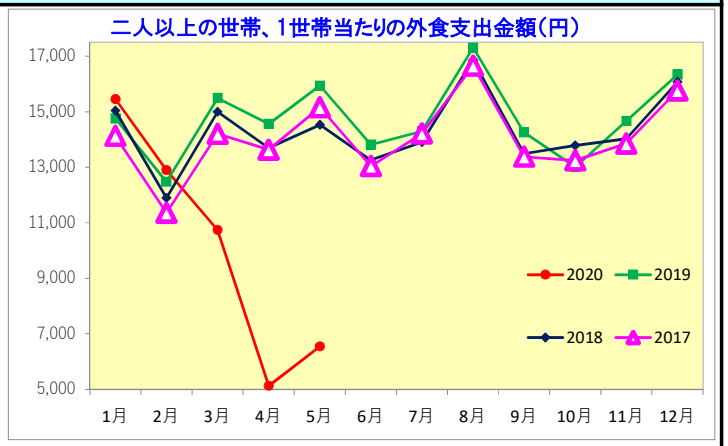
⑤喫茶:4月に続き、緊急事態宣言下の地域では休業する店舗が多く、宣言解除後もビジネス街立地では再開後の集客が振るわず、売上は33.2%となった。

（日本フードサービスのデータは店の売上データで基づくもので、総務省家計調査は消費金額からのデータです）　（出典：日本フードサービス協会）

二人以上の世帯、1世帯当たり1ヵ月間の外食への支出金額(円)

出典(総務省「家計調査」)

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020	15,458	12,902	10,744	5,127	6,547							
2019	14,757	12,475	15,490	14,562	15,937	13,814	14,300	17,309	14,252	13,010	14,673	16,338
2018	15,040	11,895	15,002	13,698	14,531	13,260	13,906	16,861	13,493	13,785	14,024	16,075
2017	14,133	11,358	14,205	13,633	15,159	13,042	14,218	16,656	13,379	13,245	13,852	15,766



畜産マーケット情報　2020年7月　牛肉編

国産牛肉の需要と供給

国産全体・・・・・・・・・・・ 梅雨時期の不需要期から動きは停滞。外食需要が若干戻りつつあるが、
ロイン関係は動きなしの状態。インバウンド需要がなく、ボーナス減額等節約志向は根強い。
外食や行楽地への消費マインド低下から内食需要は強く挽肉は引合強い。

黒毛和牛・・・・・・・・・・・ 東京市場 和牛A5@2,233円(前月比+306円)、A4@1,833円(▲145円)。
相場は上げ戻しているが、接待自粛や高級焼肉店の需要は厳しい状況。

交雑牛・・・・・・・・・・・・・ 内食需要の増加や上場頭数が少ないことから相場は低迷も底堅い。
梅雨入りから不需要期も、焼き材や切り落としは量販店から引き合い強い。

ホルスタイン去勢・・・・・ モモ系スソ物を中心に問い合わせはあるが、上位部位は全く動かない。
冷凍アイテムもロイン系を中心に在庫は十分あり、在庫過多の声も聞く。
上位部位の需要が弱く、モモ・ウデも価格上がらずパーツ化販売は避けたい状況。

経産牛・・・・・・・・・・・・・ ホクレン市場は、上場頭数前年上回り(104%)価格は前年比103%の206.8千円。
例年出回り頭数が落ち込む時期ではあるが、各産地頭数が少ない。
挽き材の在庫は非常に薄く、引合も強く供給が足りていない状況。

国産牛肉直近マーケットの変化＆トピックス

内臓　外食の一部回復から、赤物はやや荷動きが出てきたが、白物は非常に荷動き悪い。
外食消費が主体のため、焼肉店他の外食の動向次第の要素が強い。

小売問屋　駅の併設店などは客入りが伸びず、在宅勤務等のテレワーク影響も大きい。
コロナ感染予防から、店内混雑を避けるため大規模な販促が打てないなど店側も困惑。
7月以降毎月連休あるものの、需要動向が読みづらく切り落とし中心の訴求。

外食　若干回復基調であったが、直近の感染者数増加から再度自粛ムードが強まっている。
接待や会合の減少から高級志向の外食店舗需要は引き続き厳しい。

7月予測　7月国内出荷予測頭数は前年比96.8%の予測。
交雑牛は前年比91.5%、乳用種95.3%と前年下回る予測。
ロイン系アイテムの在庫過多から評価をかなり値下げし、投売りに近い状況の声も聞こえる。
市中冷凍在庫余剰から、中元歳暮ギフトへの動きも活発化予測される。

国内生産に関して

北海道素牛市況(生体単価)

品種		6月	前月対比	前年対比
黒毛和種	去勢	661 千円	▲4 千円	▲126 千円
〃	メス	568 千円	+8 千円	▲115 千円
交雑種	去勢	408 千円	▲24 千円	▲97 千円
〃	メス	338 千円	+19 千円	▲53 千円
ホルス	去勢	213 千円	+0 千円	▲33 千円

北海道十勝家畜市場　素牛単価(千円、1頭300kg当たり)　(ホルス去勢　素牛価格はホクレン発表単価)

品種	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020.1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
黒毛　去勢	787.5	811.0	775.3	794.8	813.5	809.1	791.0	771.0	766.6	681.0	712.5	665.5	661.2	▲ 4.3
黒毛　メス	682.9	734.4	686.4	698.6	719.9	710.7	703.1	688.2	659.5	578.8	578.5	560.5	568.1	7.6
交雑　去勢	505.2	522.2	493.2	470.5	503.6	506.4	527.6	528.0	552.2	461.6	441.1	431.9	408.3	▲ 23.6
交雑　メス	390.5	448.1	380.7	381.4	397.4	403.3	432.4	424.0	445.8	369.0	365.9	319.4	337.9	18.5
ホルス去勢	246.0	243.0	225.0	231.0	228.0	228.0	228.0	228.0	228.0	228.0	204.0	213.0	213.0	0.0

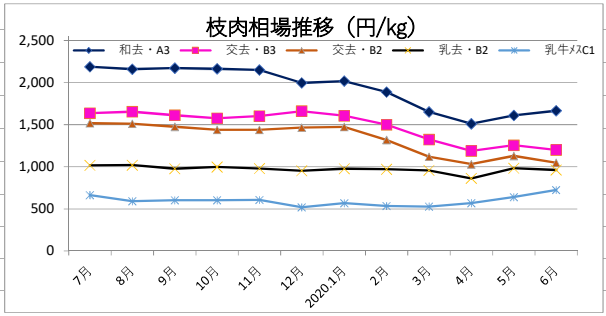
国内生産と畜(千頭)　日本食肉卸市場協会HP

品種	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020.1月	2月	3月	4月	5月
和牛	34.5	44.1	32.6	35.6	38.6	50.9	45.0	34.6	33.4	33.6	37.0	35.2
交雑牛	18.2	21.4	17.7	19.0	20.1	22.4	21.1	18.2	17.5	18.1	18.8	17.2
乳牛去勢	13.8	14.5	13.5	13.6	14.4	14.4	13.7	13.4	13.0	13.4	13.6	13.4
乳牛ﾒｽ(経産)	11.3	14.2	14.0	14.4	16.3	15.4	13.9	14.4	12.5	14.2	14.0	11.6
合計頭数	77.8	94.3	77.8	82.6	89.5	52.2	93.7	80.6	76.5	79.3	83.4	77.4

国内相場に関して

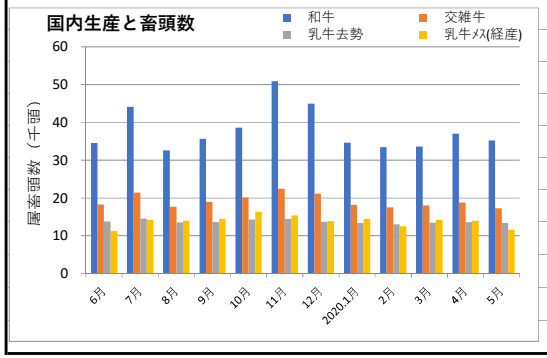
東京相場(品種別)　枝肉相場

(単位:¥/kg)	4月	前月	前月比	前年比
黒毛　去A3	1,665	1,610	55	▲ 544
交雑　去B3	1,201	1,256	▲ 55	▲ 426
交雑　去B2	1,047	1,130	▲ 83	▲ 477



東京芝浦市場枝肉相場(円/kg・税込)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020.1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比	前年比
和去・A3	2,188	2,160	2,172	2,164	2,151	1,997	2,018	1,887	1,651	1,512	1,610	1,665	55	▲544
交去・B3	1,636	1,655	1,612	1,577	1,601	1,660	1,605	1,501	1,323	1,189	1,256	1,201	▲55	▲426
交去・B2	1,517	1,512	1,476	1,438	1,439	1,464	1,474	1,320	1,119	1,031	1,130	1,047	▲83	▲477
乳去・B2	1,016	1,020	977	997	980	954	977	971	958	863	983	961	▲22	▲90
乳牛ﾒｽC1	665	592	603	602	608	519	567	535	528	569	640	724	84	17



		6月	前月	増減
・黒毛4等級去勢		¥1,875/kg	¥1,817/kg	+¥58/kg
・ホルスタイン種去B2		¥961/kg	¥983/kg	▲¥22/kg
・乳牛経産	C1芝浦	¥724/kg	¥640/kg	+¥84/kg
	C1さいたま	¥701/kg	¥648/kg	+¥53/kg

輸入牛肉の需要と供給

・豪州産

5月の牛肉輸出総量は98,565トン(前年同期比7%減)。4ヵ月連続の10万トン割れ。
上位5ヵ国は、中国6%減、日本12%減、米国12%減、韓国2%増、インドネシア10%減となった。(前年同期比)
最多輸出先は中国24,344トン、2位以下は日本23,495トン、米国20,517トン、韓国13,780トン、
インドネシア4,465トンとなった。

・米国産

2020年 5月1日　米国フィードロット飼養頭数　11,200千頭 (前年比5.1%減、前月比0.1%減)
4月フィードロット搬入頭数　1,432千頭(前年比22.3%減、前月比8.0%減)、4月出荷頭数　1,459千頭(前年比
24.3%減、前月比27.4%増)。
農務省の全国農業統計局(NSAA)によると、2020年4月末の冷凍牛肉在庫は、222千トン。前月比2%減、
前年比14%増となった。その中で、ボンレスは前年比16%増、ボンイン部分肉8%減。

輸入牛肉直近マーケットの変化＆トピックス

・国内推定月末在庫

5月末国内牛肉在庫: 165,957トン　(冷凍在庫:154,826トン、冷蔵在庫:11,131トン)
うち輸入牛肉在庫: 136,234トン　(冷凍在庫:125,857トン、冷蔵在庫:10,377トン) 、未通関在庫: 18,187トン
輸入牛肉在庫は前月比104.4%、前年同月比 122.7%。未通関在庫は前月比116.9%、前年同月比105.5%。
輸入冷凍品は前月比106.8%、前年同月比124.9%、輸入冷蔵品は前月比82.2%、前年同月比101.7%。

・豪州産、米国産

7月1週のEYCI(東部若齢牛指標価格)はAU￠752.50/kg。先週はAU￠764.25/kg。前年同月はAU￠496.50/kg。
7月1週の牛と畜頭数は、126,666頭(前週121,391頭、前年同期151,748頭)。

米国　6月4週(5/22-6/27)連邦政府検査と畜頭数 推定680千頭(前週656千頭、前年同週670千頭)
全米5大取引地区6月4週(6月26日)若齢去勢牛相場93.50～99.00ドル/生体100ポンド(チョイス規格)
6月26日カッター規格の全国平均カットアウト価格199.43ドル/100lb、前週比2.76ドル安。

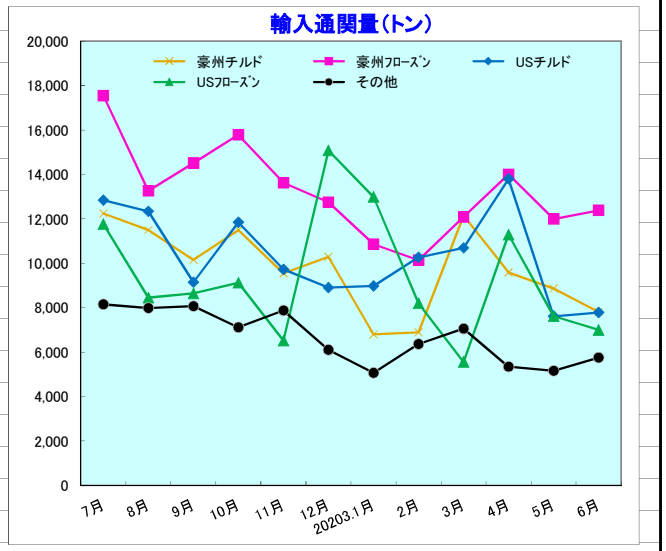
輸入牛肉の数量に関して

6月輸入量実績

分類	対前月比	増減率	前年同月比	増減率
豪州チルド	▲1,063t	▲12.0%	▲2,035t	▲20.7%
豪州フローズン	+383t	+3.2%	+49t	+0.4%
USチルド	+172t	+2.3%	▲2,049t	▲20.8%
USフローズン	▲618t	▲8.1%	▲1,826t	▲20.7%

7月輸入量予測(日本食肉輸出入協会会員予測)

分類	輸入量	前年比増減率
豪州チルド	7,821t	▲36.1%
豪州フローズン	10,697t	▲39.0%
USチルド	8,294t	▲35.4%
USフローズン	6,735t	▲42.7%
その他	4,049t	▲50.3%
チルド　合計	17,246t	
フローズン合計	20,350t	
合計	37,596t	



輸入通関量(トン)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20203.1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比	前年比
豪州チルド	12,240	11,490	10,158	11,490	9,551	10,294	6,801	6,894	12,146	9,588	8,864	7,801	△ 1,063	△ 2,035
豪州フローズン	17,544	13,255	14,514	15,784	13,626	12,747	10,863	10,138	12,091	14,004	11,997	12,380	383	49
USチルド	12,842	12,342	9,144	11,844	9,726	8,908	8,976	10,263	10,695	13,803	7,613	7,785	172	△ 2,049
USフローズン	11,764	8,449	8,643	9,125	6,511	15,076	12,987	8,205	5,560	11,289	7,621	7,003	△ 618	△ 1,826
その他	8,151	7,986	8,066	7,117	7,880	6,106	5,065	6,368	7,057	5,347	5,163	5,758	595	△ 709
合計数量	62,541	53,522	50,525	55,360	47,294	53,131	44,692	41,868	47,549	54,031	41,258	40,727	△ 531	△ 6,570

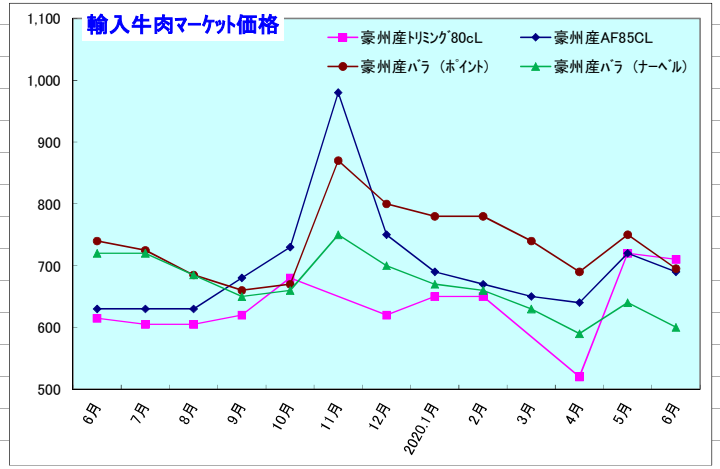
輸入牛肉のマーケット価格に関して

・オーストラリア産フローズン(6月)

S-ポイント	695
S-ナーベル	600
AF85CL	690
GFトリミング70CL	515
GSトリミング65CL	460

・アメリカ産フローズン(6月)

ショートプレート(アングレ)	565
チャックアイロール(アングレ)	915



輸入牛肉マーケット価格(フローズン・円/kg)

資料:当社内まとめ

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020.1月	2月	3月	4月	5月	6月
豪州産トリミング80cL	615	605	605	620	680		620	650	650		520	720	710
豪州産AF85CL	630	630	630	680	730	980	750	690	670	650	640	720	690
豪州産バラ (ポイント)	740	725	685	660	670	870	800	780	780	740	690	750	695
豪州産バラ (ナーベル)	720	720	685	650	660	750	700	670	660	630	590	640	600

国産豚肉の需要と供給

・2020年6月　3市場(東京・埼玉・横浜)枝肉平均相場　￥569.9/kg(税抜)、前年比+2.7%、前月比▲2.3%

・2020年6月 一日あたりの平均出荷頭数59,668頭　前年比▲2.5%

出荷頭数は、6月は前年同月をかなりの程度上回る一方、7月は前年同月をやや下回ると予測。このことから生産量も6月は前年同月をかなりの程度上回る一方、7月は前年同月をやや下回ると予測。

3カ月平均(5～7月)では、出荷頭数、生産量ともに前年同期をやや下回ると予測。

・国内出回り量・期末在庫予測

・・・・・ALIC予測		出回り量(千トン)	前年比	期末在庫(千トン)	前年比
	5月予測	131.5	92.2%	235.7	114.1%
	6月予測	149.0	104.5%	227.8	109.9%
	7月予測	160.1	104.6%	209.2	97.6%

国産豚肉直近マーケットの変化＆トピックス

消費動向

総務省発表の令和2年4月期家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は2,058g(前年同月比119.7%)、支出金額が2,907円(同121.4%)となっている。

概況

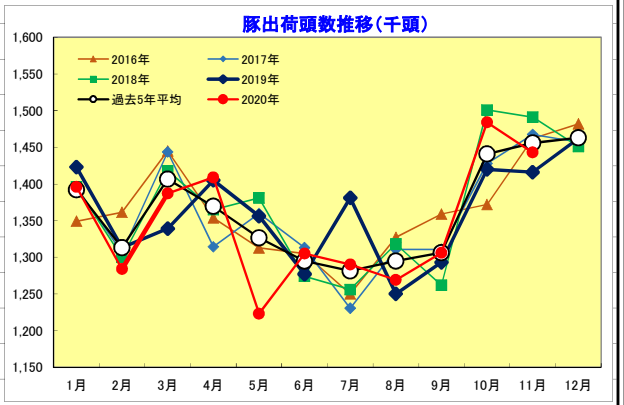
5月：食品関連スーパー3団体の5月の販売統計速報によると、既存店ベースでの畜産部門の売上高は1,231億円(前年同月比117.5%)。例年のGW期間の焼肉やBBQ需要は減少したものの、外出自粛による家庭内消費の内食需要が続く中、牛肉・豚肉・鶏肉といった精肉全般に加え、ソーセージやハムなどの加工品も好調だった。豚肉や鶏肉の一部に欠品も見られ、炒め物や餃子用などの調理用商材の売れ行きが良かった。

6月：量販店などの販売が徐々に落ち着いているものの、内食需要が継続したなかで堅調な荷動きとなった。北米の現地工場の生産量の減少による輸入チルドポークの品薄感があったものの、一部の量販店などでチラシの自粛があり国産への引き合いは限定的となった。 部位ではロースやバラの荷動きが鈍いものの、学校給食の再開もありモモ・ウデ、ひき材の荷動きは堅調であった。

国内生産に関して

■全国の予測出荷頭数

	頭数(千)	前年比
5月 予測	1,223	92%
6月 予測	1,305	102%
7月 予測	1,290	100%
8月 予測	1,269	99%
9月 予測	1,306	100%
10月 予測	1,484	103%
11月 予測	1,443	100%



■国内肉豚生産出荷頭数(千頭)　※農水省食肉鶏卵課出荷予測

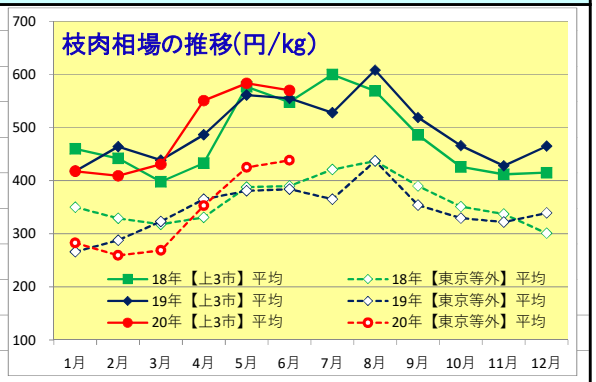
豚肉出荷頭数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2016年	1,349	1,361	1,445	1,354	1,313	1,305	1,250	1,327	1,359	1,372	1,462	1,482
2017年	1,396	1,307	1,444	1,314	1,360	1,313	1,230	1,311	1,311	1,428	1,468	1,457
2018年	1,396	1,300	1,418	1,365	1,381	1,274	1,256	1,318	1,262	1,501	1,491	1,451
2019年	1,423	1,313	1,339	1,405	1,356	1,277	1,381	1,250	1,293	1,420	1,416	1,462
2020年	1,396	1,284	1,387	1,409	1,223	1,305	1,290	1,269	1,306	1,484	1,443	
過去5年平均	1,392	1,313	1,407	1,369	1,327	1,295	1,281	1,295	1,306	1,441	1,456	1,463
前月比	95%	92%	108%	102%	87%	107%	99%	91%	103%	110%	105%	103%
前年比	98%	98%	104%	100%	90%	102%	93%	95%	102%	95%	95%	101%
過去5年平均比	100%	98%	99%	103%	92%	101%	101%	97%	99%	99%	97%	100%

国内相場に関して

枝肉相場(東京市場/大阪市場)

(税抜、円/kg)

	東京	前年比	大阪	前年比
4月	555	112.3%	555	120.3%
5月	579	103.9%	518	104.4%
6月	578	104.8%	531	99.0%
7月予測	608.3		530	
昨比	116.6%		102.8%	



■市場枝肉相場の推移(円/kg・税抜き)　資料：当社分析

豚肉	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
18年【上3市】平均	460	442	398	433	577	548	600	569	486	426	412	415
19年【上3市】平均	418	464	439	487	561	555	528	608	519	466	428	465
20年【上3市】平均	418	409	431	551	583	570						
前月比	90%	98%	105%	128%	106%	98%						
前年比	100%	88%	98%	113%	104%	103%						
18年【東京等外】平均	350	329	318	331	388	390	421	437	390	351	337	301
19年【東京等外】平均	266	288	323	365	381	384	365	437	354	329	322	339
20年【東京等外】平均	283	259	269	353	425	438						

輸入豚肉の需要と供給

・北米（アメリカ・カナダ）

6/29週の全米屠畜頭数は2,641,000頭となり前年比約111%、前月比約134%と前年前月を上回る。
一方で食肉工場の工員数はコロナの影響を受け、60～70%に留まっており、脱骨・整形作業員が足りない
状況が続いている。
5/31時点の全米冷凍在庫は211,800トン、前年比74%、前月比76%と急速に在庫消化が進んでいる。
6月後半から対日向けの供給にやや余裕が出始め、現地相場も落ち着いたが、コロナの状況次第で供給面で
不安が残る。

・EU

全デンマークにおける2020年の年始から6/15週までの平均週間屠畜頭数は325.407頭となり、前年の平均週間
屠畜頭数306,960頭と比較し6%増と、着実に国内屠畜頭数が回復している。
年初に前年比6割近く高騰していた生体買い上げ価格も直近7/13週でDKK10.50/kgとなり、前年同週の
DKK11.40/kgを下回るレベルまで下落。 新型コロナによる世界的需要減とEU各国の工場処理能力低下の
影響が生体相場の下落につながっている。
6月後半から欧州各国で中国による買い付けが活発化。一方で新型コロナを理由に輸入停止も進めており不透明。

輸入豚肉直近マーケットの変化＆トピックス

・北米（アメリカ・カナダ）

アメリカにおけるコロナの発生数は7月に入っても一日あたり5万人～6万人となっている。特に中西部においては
6/29累計でネブラスカ18,889人、アイオワ28,732人、オクラホマ12,995人、カンザス14,056人、ミズーリ20,261人
と増加の一途をたどっている。
感染拡大の原因の一つとして食肉工場がクローズアップされており、今後の生産・供給への影響が懸念される。

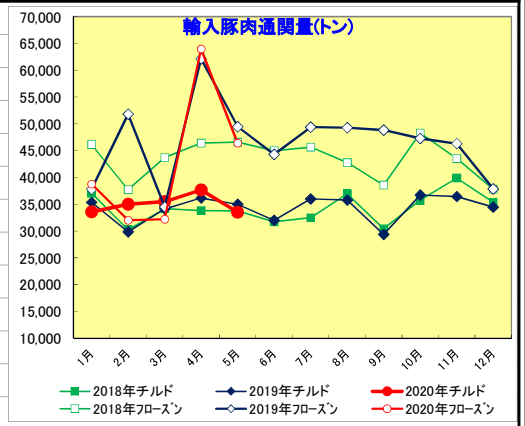
・アフリカ豚熱（ASF）

2020年、6/21までの集計でEU及びウクライナでは豚・イノシシ合計で7,249頭のASF感染が確認されており、
そのうち327頭が豚における発生であった。 本年に入りEUでは昨年を上回るペースでASFの発生があり、
またポーランド西部、ドイツ国境付近（約10km）まで迫ってきていることが懸念材料。
中国では2018年8/3の初確認以降、2020年7/9現在で全土合計183か所に感染が拡大しているものの
5/30以来新たな感染発生の公式報告がない状態であり正確な実態が不透明。
中国の生体相場は新型コロナ発生後下落が続いていたが5/21の28.49元を底に上昇に転じ、7/1時点では34.56元を
付けている。2019年以前の生体相場は永らく15元/kg前後で推移してきており、そこから倍の高値が継続している。

輸入豚肉の数量に関して

2020年 5月の数量

輸出国	種類	数量(t)	前年比
・アメリカ	冷蔵	17,361	95.0%
	冷凍	5,009	103.8%
・カナダ	冷蔵	15,197	96.2%
	冷凍	3,629	115.9%
・デンマーク	冷凍	5,601	59.4%
＝ 全体		79,936	94.6%

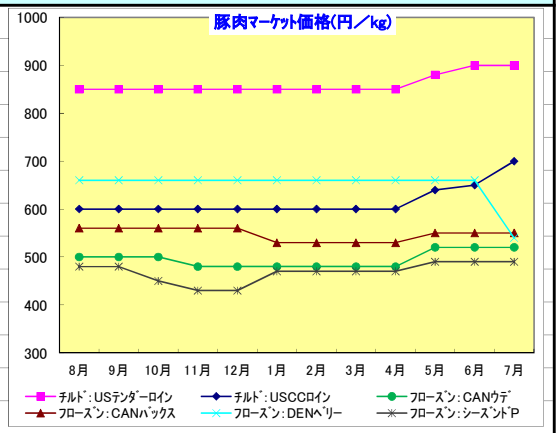


■輸入豚肉通関量（トン）　　資料：財務省貿易統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年チルド	37,069	30,228	34,152	33,822	33,725	31,724	32,484	36,939	30,441	35,760	39,903	35,380
2019年チルド	35,380	29,859	34,135	36,153	35,004	32,006	35,993	35,778	29,357	36,712	36,449	34,455
2020年チルド	33,568	35,014	35,478	37,664	33,506							
2018年フローズン	46,129	37,719	43,716	46,410	46,589	45,019	45,673	42,777	38,584	48,290	43,510	37,826
2019年フローズン	37,826	51,833	34,518	62,161	49,463	44,303	49,395	49,292	48,839	47,295	46,314	37,870
2020年フローズン	38,764	32,018	32,208	63,989	46,430							

輸入豚肉のマーケット価格に関して

輸出国	種類	状況
・アメリカ	Belly	弱含み
	Cushion, Picnic	弱含み
・カナダ	Belly	弱含み
	Backs, Picnic	弱含み
・デンマーク	Belly(4pc)	弱含み



■豚肉マーケット価格（円/kg）　　資料：当社分析

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
チルド：USテンダーロイン	850	850	850	850	850	850	850	850	850	880	900	900
チルド：USCCロイン	600	600	600	600	600	600	600	600	600	640	650	700
フローズン：CANウデ	500	500	500	480	480	480	480	480	480	520	520	520
フローズン：CANバックス	560	560	560	560	560	530	530	530	530	550	550	550
フローズン：DENベリー	660	660	660	660	660	660	660	660	660	660	660	540
フローズン：シーズンドP	480	480	450	430	430	470	470	470	470	490	490	490

国産鶏肉の需要と供給

供給状況

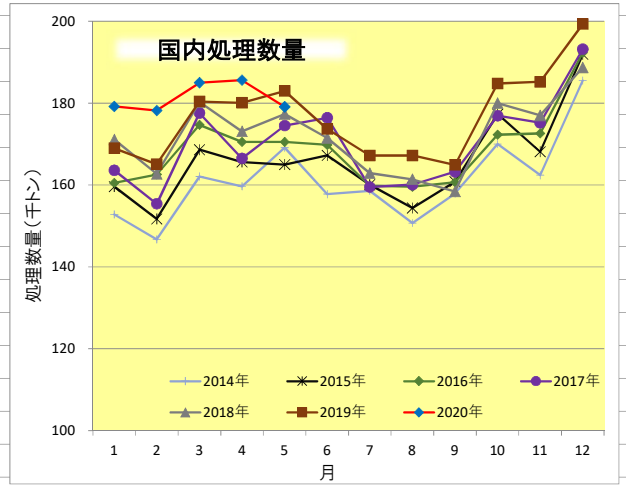
6月は処理羽数(前年比104.7%)・処理重量(同102.0%)とも前月時点の予測と変わらず前年を上回る計画。7月も同じく処理羽数(同102.0%)は増加するも、増体が鈍るとの予測から処理重量(同99.3%)は下回る計画となっている。8月は逆に処理羽数(同99.0%)は下回るものの、処理重量(同100.0%)は前年並みを見込んでいる。新型コロナウイルスの感染拡大の影響は鳥インフルエンザ発生の場合と異なり、生産面で直接の影響はないものの、処理場従業員が罹患した場合の対策が課題になると考えられているが、現時点で大きな問題は生じていない。消費面では、インバウンド需要・外食向けの激減、大規模イベント等の中止・自粛や夜間の外出自粛等による消費の落ち込みが続いている。国産鶏肉に関しては、内食需要により生協・量販店等では一時期程ではないが好調をキープしている。今後も自粛ムードが長期化すれば、一定の内食需要は継続すると思われるため、猛暑の影響も想定されるが鶏肉相場は当面弱保合が予測される。

・生産状況

計画値

	処理羽数	前年比
'20/06月	59,694 千羽	104.7 %
'20/07月	58,941 千羽	102.0 %
'20/08月	56,910 千羽	99.0 %

	処理重量	
'20/06月	177.2 千ﾄﾝ	102.0 %
'20/07月	172.9 千ﾄﾝ	99.3 %
'20/08月	167.2 千ﾄﾝ	100.0 %



処理重量推計実績(千ﾄﾝ)　　資料:日本食鳥協会発行PWV

鶏肉	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	179.2	178.2	185.0	185.6	179.1							
2019年	169.0	165.1	180.4	180.1	183.0	173.7	167.2	167.2	164.9	184.8	185.2	199.3
2018年	171.1	162.7	180.2	173.1	177.3	171.5	162.9	161.4	158.4	180.0	177.0	188.7
2017年	163.6	155.4	177.6	166.5	174.5	176.4	159.5	160.1	163.2	176.9	175.2	193.2
2016年	160.5	162.6	174.7	170.5	170.5	169.8	159.8	159.6	160.7	172.3	172.6	192.3
2015年	159.6	151.7	168.6	165.6	165.0	167.2	160.1	154.4	160.8	177.3	168.1	191.9
2014年	152.8	146.7	162.1	159.7	169.1	157.8	158.6	150.7	157.9	170.0	162.4	185.5

国産鶏肉直近マーケットの変化＆トピックス

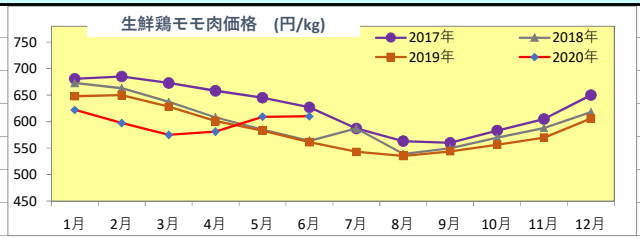
6月の平均相場は、モモ肉610円/kg(前月比+1円)・ムネ肉257円/kg(同+3円)正肉合計で867円/2kgと前月比で4円上回り、前年比でも80円上回った。モモ肉は月初612円で始まり、多少の変動はあったものの保ち合い圏内で推移し月末609円と結果3円安となった。ムネ肉は、モモ肉と同様で、月初258円・月末259円と1円高と保ち合い圏内となった。緊急事態宣言のさなか、例年であれば下げ相場のところ内食需要が引き続き強く量販店等からの引き合いに左右された格好になったと思われる。

7月は全国的に気温が高くなるとの予報。緊急事態宣言が解除されたものの以前の様な日常生活には戻っておらず先行きは不透明な状態のまま。月中多少の上昇下降はあると思われるが、モモ肉は月平均595円のやや下げと予測する。ムネ肉については、加工筋からの引合いも堅調であるため、保ち合い圏内の月平均260円と予測する。

国内相場に関して

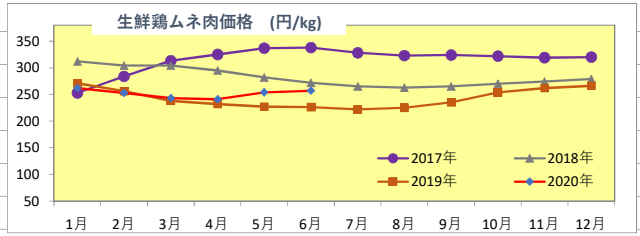
・6月生鮮平均相場

	(モモ肉)	(ムネ肉)
'20年6月	610 円/kg	257 円/kg
'19年6月	561 円/kg	226 円/kg
増減	49 円/kg	31 円/kg
'20/7月予想	590 円/kg	260 円/kg



・7月冷凍相場予測

モモ肉	480 円/kg
ムネ肉	240 円/kg
手羽先	400 円/kg
手羽元	300 円/kg
ササミ	250 円/kg



国内相場推移:東京(円/kg)　　資料:日本経済新聞

モモ肉	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	622	597	575	581	609	610						
2019年	648	650	628	601	583	561	543	535	544	556	570	606
2018年	673	663	637	608	585	564	587	539	550	570	588	618
2017年	681	685	673	658	645	627	587	563	560	583	605	650
ムネ肉	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	262	253	243	241	254	257						
2019年	271	256	238	232	227	226	222	225	235	254	262	266
2018年	312	304	304	295	282	272	265	263	265	270	274	279
2017年	253	284	313	325	337	338	328	323	324	322	319	320

輸入鶏肉の需要と供給

供給状況

・ブラジル 6月対日積出し量 31,225トン(前月比75.4%、前年比84.6%)と前月、前年ともに大きく減少。
中国向け積出し量は、56,765トン(前月比85.2%、前年比114.4%)と前月を大きく下回るも、前年より増加。

・5月輸入通関数量 36,109トン(前月比 77.3%、前年比 77.5%)と前月、前年ともに大きく減少。
タイは、8,685トン (前月比 83.3%、前年比 103.5%) と前月を下回るも前年よりは増加。

・5月推定月末在庫は、輸入鶏肉 148,263トンと、前月より 3,763トン増加して 102.6%、前年比 121.4%。
未通関在庫は、5,008トンと、 前月から 304トン減少し 94.3%、前年比では 83.9%に減少。

需要状況

・ALIC推計の鶏肉需給表によると、4月推定出回り量は 187,816トン(前年比 101.7%)。そのうち、
輸入品の出回り量は前年比 83.9%、国産品は前年比 108.3%と、輸入品が減少。

輸入鶏肉直近マーケットの変化＆トピックス

・5月の鶏肉輸入量は約36.1千トンであり、40千トンを下回るのは昨年3月の約39.6千トン以来の1年2ヵ月ぶり。

・ブラジル6月対中国への輸出数量は、56千トン台と前月を大きく下回るものの、前年比では+7千トン。
また、ブラジルからの輸出量は前月比で各国で全体的に10～20%ほどの減少となっている。

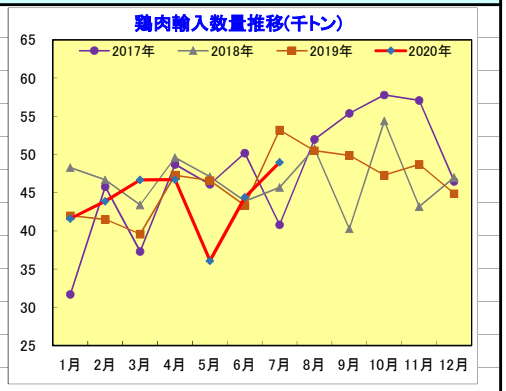
・国内の輸入鶏肉の推定5月末在庫は前月から 3,763トン増加して148,263トン。未通関分と合わせた
数量は、約12万トンほど。

・ホットペッパーグルメ外食総研、緊急事態宣言中と解除後の外食の実態調査によると、外食を再開するつもり
(「以前と変わりなく」と「以前より頻度を低くする」の計)は54.0%、一方で「当分は控える」は34.1%。

輸入鶏肉の数量に関して

食肉輸出入協会による
2020年5月～2020年7月の輸入量実績と予想

	5月 実績	6月 予想	7月 予想
ブラジル	26.0 千トン	33.3 千トン	37.7 千トン
米国	1.3 千トン	1.0 千トン	1.0 千トン
タイ	8.7 千トン	9.8 千トン	10.0 千トン
その他	0.1 千トン	0.3 千トン	0.3 千トン
合計	**36.1 千トン**	**44.4 千トン**	**49.0 千トン**



鶏肉輸入数量推移(千トン)　6月～7月は予想数値　資料:日本食肉輸出入協会

鶏肉	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	41.6	43.9	46.7	46.7	36.1	44.4	49.0					
2019年	42.0	41.5	39.6	47.3	46.6	43.3	53.2	50.5	49.9	47.3	48.7	44.9
2018年	48.3	46.7	43.4	49.6	47.1	43.9	45.7	50.8	40.3	54.4	43.2	47.0
2017年	31.7	45.8	37.3	48.7	46.1	50.2	40.8	52.0	55.4	57.8	57.1	46.5

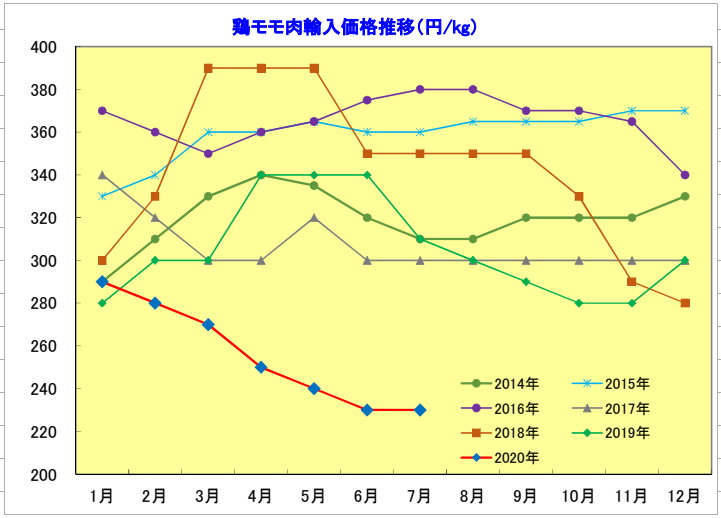
輸入鶏肉推定出回数量推移(千トン)　資料:農畜産業振興機構

鶏肉	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	38.5	42.8	45.3	41.5								
2019年	40.6	46.1	44.9	49.5	46.9	42.4	48.7	49.9	47.4	48.2	49.0	48.9
2018年	38.3	37.4	55.3	52.9	49.6	49.5	42.9	50.2	45.3	51.6	43.2	51.4
2017年	39.2	44.8	40.0	50.8	40.2	42.6	42.8	43.3	54.3	45.3	50.6	56.6

輸入鶏肉のマーケット価格に関して

7月予想価格
(ブラジル)
BL　230 円/kg
BLK　280 円/kg

(タイ)
BL　290 円/kg
BLK　310 円/kg



輸入鶏モモ肉マーケット価格推移(円/kg)　7月は予想数値　資料:当社予測

鶏肉モモ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	290	280	270	250	240	230	230					
2019年	280	300	300	340	340	340	310	300	290	280	280	300
2018年	300	330	390	390	390	350	350	350	350	330	290	280
2017年	340	320	300	300	320	300	300	300	300	300	300	300
2016年	370	360	350	360	365	375	380	380	370	370	365	340
2015年	330	340	360	360	365	360	360	365	365	365	370	370
2014年	290	310	330	340	335	320	310	310	320	320	320	330

直近マーケットの変化＆トピックス

【食肉の購入数量、内食需要増加で各畜種とも右肩上がりに伸長/令和2年1月～4月の家計調査】

総務省が公表する家計調査について、2020年1～4月の1世帯当たり食肉の購入数量は、生鮮肉全畜種において右肩上がりに増加している。外食を自粛する動きが高まり、内食需要が高まり、コロナの影響が出始めた3月から、購入数量は全畜種で増加しており、4月は緊急事態宣言もあり、さらに需要が増加した。

6月は、経済不安定による節約志向が相まって、末端需要は徐々に落ち着き始めたものの、コロナウイルスによる内食受容は固く推移している。輸入チルドポークは、供給面ではPEDの影響で伸び悩んだものの、6月の豚枝肉相場は578円。前年同月比33円高と高値推移した。豚加工品も同じように、需要を確実に伸ばし、国内の生産量は右肩上がりである。

現在、コロナウイルスによる緊急事態宣言解除を経て、普段の生活を取り戻しつつある。需要の見通しとして、例年7月は天候に左右される面や夏休みが始まり、学校給食も止まってしまうため、末端需要は決して盛り上がらない。しかしながら、学校によっては、「夏休み返上」が話題になり、通常とは異なった7月が予想されるため、需要動向は読みづらい。

海外産畜肉加工品　　国別ソーセージ　輸入量　'20年　5月

輸入国	輸入量(t)	前年同月比
中国	413	55.5%
アメリカ	513	59.0%
タイ	630	164.9%
ブラジル	541	102.2%
デンマーク	81	47.9%
他	197	89.5%
計	2,375	81.6%

○ハム･ソーセージ類国産加工生産量

【2020年4月国産加工生産量　】

	4月生産量(t)	前年同月比	4月累計(t)	前年同期比
ハム類	9,249	101.7%	32,611	103.6%
ベーコン類	9,326	104.2%	32,469	102.3%
ソーセージ類	29,651	101.7%	104,961	103.6%
プレスハム類	1,799	76.3%	6,904	89.8%
合計	50,025	100.9%	176,944	102.8%

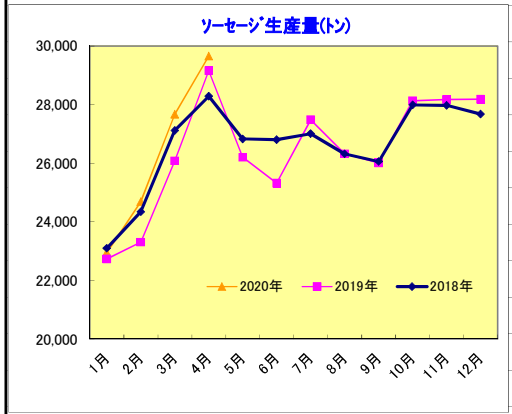
○輸入加工品通関量

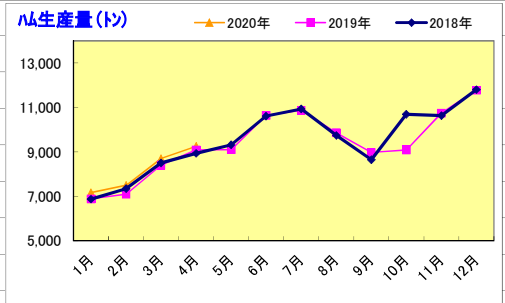
【ソーセージ輸入通関量･5月】

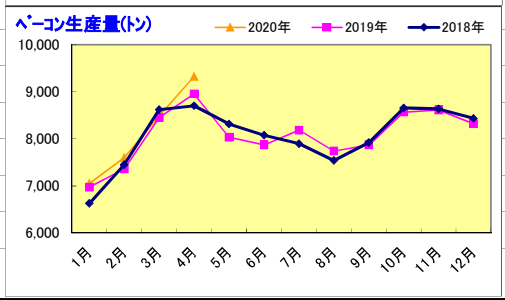
	数量(t)	前年同期比	前月比
合計	2,375	81.6%	68.8%

【鶏肉調製品輸入通関量･5月】

	数量(t)	前年同期比	前月比
タイ	24,292	97.2%	90.0%
中国	11,988	48.0%	70.5%
合計			







国内食肉加工品生産数量(ﾄﾝ)　　資料：日本ﾊﾑｿｰ工業協同組合調べ

ソーセージ類

単位：t	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	22,954	24,686	27,670	29,651								
2019年	22,735	23,303	26,080	29,154	26,202	25,323	27,480	26,318	26,009	28,134	28,167	28,180
2018年	23,096	24,337	27,111	28,282	26,829	26,801	27,003	26,313	26,053	27,986	27,971	27,677

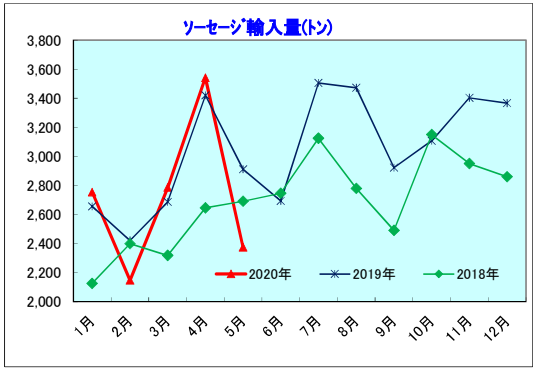
ハム類

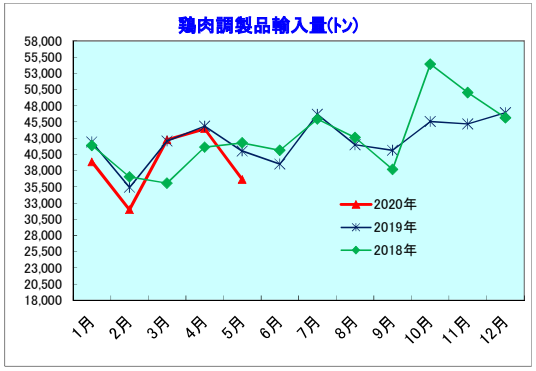
単位：t	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	7,165	7,496	8,701	9,249								
2019年	6,889	7,094	8,411	9,091	9,104	10,649	10,870	9,860	8,980	9,081	10,745	11,779
2018年	6,876	7,351	8,502	8,931	9,320	10,610	10,930	9,736	8,647	10,690	10,633	11,801

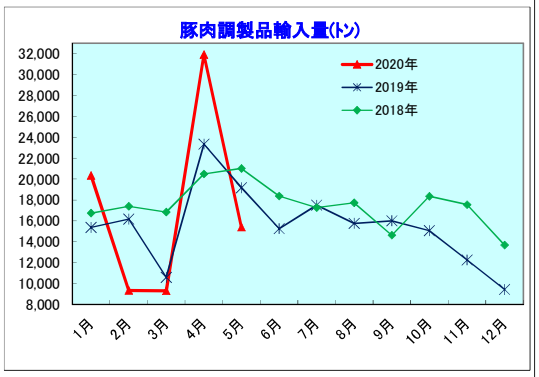
ベーコン類

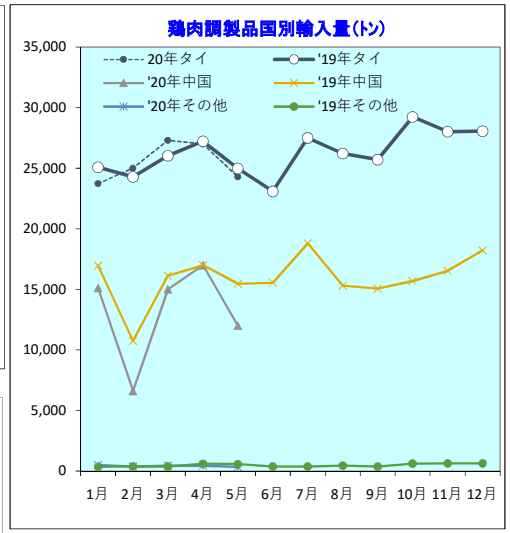
単位：t	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	7,053	7,604	8,486	9,326								
2019年	6,974	7,359	8,448	8,953	8,037	7,870	8,187	7,741	7,872	8,570	8,611	8,319
2018年	6,628	7,451	8,621	8,702	8,316	8,075	7,897	7,541	7,921	8,656	8,636	8,436

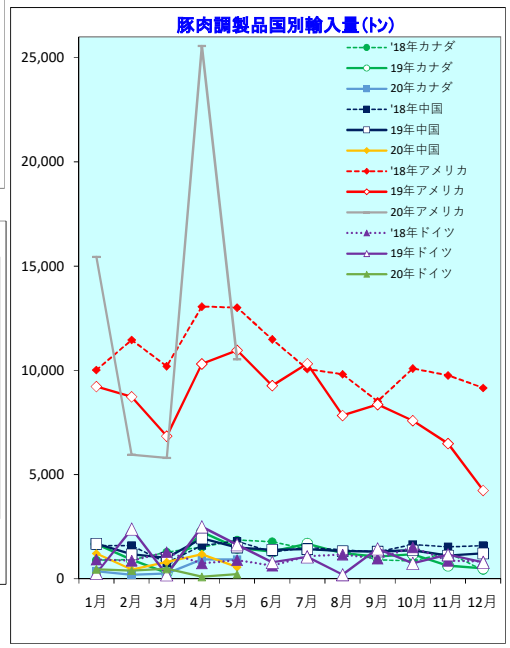
海外からの加工品輸入量











ソーセージの輸入数量(トン)　　資料:財務省日本貿易月報

ソーセージ類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	2,754	2,147	2,786	3,541	2,375							
2019年	2,656	2,421	2,687	3,420	2,911	2,694	3,505	3,472	2,923	3,107	3,403	3,366
2018年	2,126	2,399	2,318	2,646	2,692	2,746	3,125	2,780	2,491	3,150	2,951	2,860

食肉製品・調製品の輸入数量(トン)　　資料:財務省日本貿易月報

鶏肉(国別)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20年タイ	23,730	24,998	27,303	27,000	24,292							
'19年タイ	25,082	24,282	26,037	27,224	24,985	23,097	27,502	26,220	25,707	29,236	28,020	28,053
'18年タイ	25,445	22,469	24,125	23,259	23,388	23,397	26,402	25,029	21,676	30,699	29,448	27,639
'20年中国	15,116	6,619	15,005	16,994	11,988							
'19年中国	16,963	10,747	16,135	17,010	15,458	15,548	18,801	15,299	15,059	15,690	16,528	18,238
'18年中国	16,241	14,328	11,633	18,013	18,578	17,490	19,292	17,660	16,251	19,328	20,052	17,934
'20年その他	498	358	435	434	343							
'19年その他	350	384	378	597	577	366	371	457	368	625	638	628
'18年その他	174	245	297	334	293	245	219	396	244	457	525	552
豚肉(国別)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20年アメリカ	15,438	5,952	5,797	25,559	10,538							
19年アメリカ	9,227	8,738	6,846	10,309	10,964	9,267	10,324	7,837	8,359	7,589	6,488	4,238
'18年アメリカ	10,018	11,460	10,199	13,065	13,012	11,490	10,065	9,810	8,516	10,088	9,762	9,162
20年中国	1,215	444	806	1,180	556							
19年中国	1,684	1,175	1,008	1,937	1,503	1,382	1,426	1,325	1,302	1,365	1,112	1,215
'18年中国	1,602	1,588	765	1,596	1,800	1,277	1,502	1,387	1,290	1,641	1,529	1,593
20年ﾃﾞﾝﾏｰｸ	472	401	195	545	665							
19年ﾃﾞﾝﾏｰｸ	124	353	193	302	368	163	526	1,416	959	817	314	390
'18年ﾃﾞﾝﾏｰｸ	337	286	353	459	448	319	336	404	285	212	424	246
20年カナダ	362	194	251	925	919							
19年カナダ	1,671	914	288	2,254	1,483	1,309	1,688	1,229	1,063	1,181	628	497
'18年カナダ	894	918	1,280	1,524	1,861	1,775	1,424	1,322	914	850	1,257	410
20年タイ	565	473	532	650	304							
19年タイ	407	319	533	488	443	469	582	545	426	608	491	553
'18年タイ	515	523	462	451	491	540	564	522	378	496	443	459
20年チリ	480	312	480	432	288							
19年チリ	408	385	468	168	648	312	144	359	432	536	457	336
'18年チリ	360	289	456	408	240	240	240	336	383	311	467	414
20年ドイツ	459	390	480	97	217							
19年ドイツ	268	2,396	195	2,500	1,639	792	1,054	198	1,441	747	1,158	792
'18年ドイツ	924	871	1,280	736	897	632	1,084	1,161	969	1,511	871	830
20年その他	1,349	1,175	768	2,522	1,556							
19年その他	1,577	1,751	1,051	5,381	2,117	1,557	1,749	2,855	2,031	2,225	1,603	1,419
'18年その他	2,087	1,452	2,053	2,250	2,233	2,106	2,060	2,795	1,889	3,104	2,804	565
豚肉(合計)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	20,340	9,341	9,309	31,910	15,403							
2019年	15,365	16,162	10,583	23,338	19,165	15,253	17,493	15,764	16,013	15,068	12,251	9,440
2018年	16,737	17,387	16,848	20,489	21,017	18,379	17,276	17,738	14,624	18,357	17,556	13,673
鶏肉(合計)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	39,344	31,975	42,743	44,428	36,623							
2019年	42,395	35,413	42,550	44,831	41,020	39,011	46,674	41,976	41,134	45,551	45,186	46,919
2018年	41,860	37,042	36,057	41,606	42,259	41,132	45,914	43,085	38,171	54,411	50,025	46,125